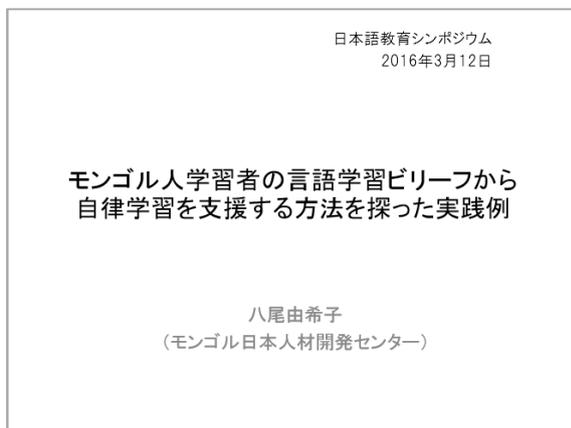


発表⑦

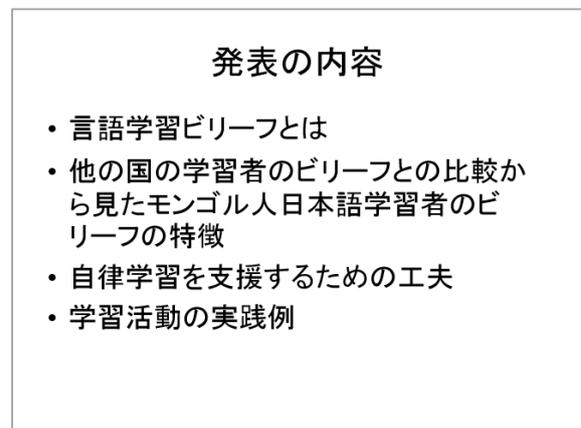


「モンゴル人学習者の言語学習ビリーフから
自律学習を支援する方法を探った実践例」

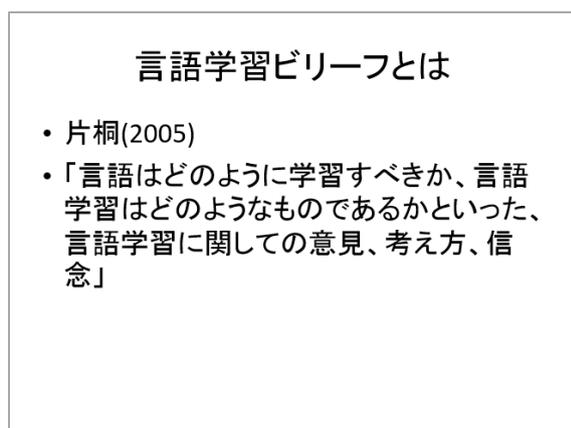
八尾由希子
モンゴル日本人材センター



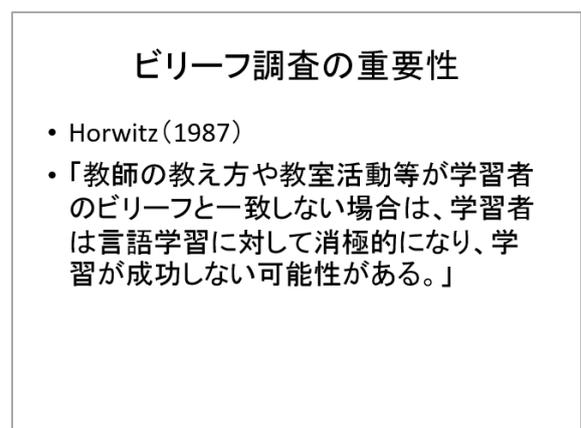
1



2



3



4

各国のビリーフ調査

国	調査対象機関	人数(人)	時期
モンゴル	モンゴル日本センター、コンピュータ技術大学、今朝日本語センター、84番学校	207	2011
フィリピン	フィリピン大学	156	2003.9
ベトナム	ハノイ国家大学外国語大学	107	2007.10
スリランカ	ケラニア大学、サバラガムワ大学	86	2006.5-7
インド	Jawaharlal Nehru University, プネ大学、ティラク大学	148	2010.2
ドイツ	ルール大学ボーフム、デュッセルドルフ大学など13大学	760	
スペイン	マドリード自治大学	98	2007.5
日本	愛知教育大学	114	2011.5

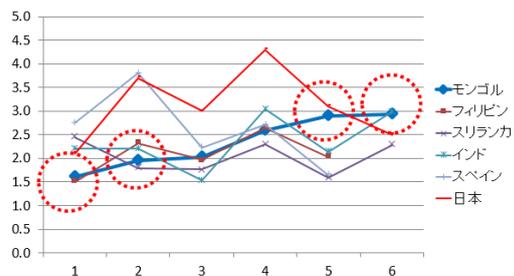
5

外国語学習への自信

No	質問項目	平均値(1強く賛成 ⇄ 5強く反対)					
		モン	フィ	スリ	イン	スベ	日
1	だれもが外国語を話せるようになる。	1.6	1.5	2.5	2.2	2.8	2.1
2	私の国の人は、外国語を学習するのが得意だ。	2.0	2.3	1.8	2.2	3.8	3.7
3	私は日本語(英語)がとてもうまく話せるようになると信じている。	2.0	2.0	1.8	1.5	2.2	3.0
4	私には外国語を学ぶ特別な才能がある。	2.6	2.6	2.3	3.0	2.7	4.3
5	外国語学習に対して特別な才能がある人がいる。	2.9	2.0	1.6	2.1	1.7	3.1
6	2つ以上の言語が話せる人はとても頭がいいと思う。	2.9		2.3	3.0		2.5

6

外国語学習への自信



7

外国語学習への自信

- **モンゴル人は外国語学習が得意だ**
 - 項目2「私の国の人は外国語を学習するのが得意である」(2.0)
- **外国語学習は特別なことではない**
 - 項目1「だれもが外国語を話せるようになる」(1.6)
 - 項目5「外国語学習に対して特別な才能がある人がいる」(2.9)
 - 項目6「2つ以上の言語が話せる人はとても頭がいいと思う」(2.9)

8

外国語学習への自信 (日本との比較)

- 外国語学習への精神的なハードル:
- M: 低い ⇄ J: 高い
 - 項目2「私の国の人は、外国語を学習するのが得意だ」 M: 2.0 ⇄ J: 3.7
 - 項目3「私は日本語(英語)がとてもうまく話せるようになると信じている」 M: 2.0 ⇄ J: 3.0
 - 項目4「私には外国語を学ぶ特別な才能がある」 M: 2.6 ⇄ J: 4.3

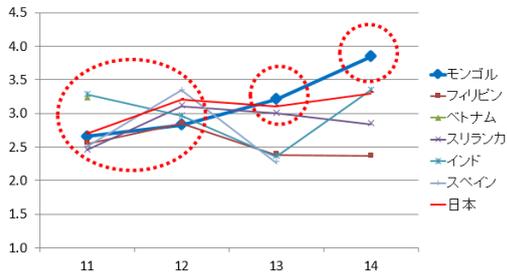
9

外国語学習への自信(2)

No	質問項目	平均値(1強く賛成 ⇄ 5強く反対)					
		モン	フィ	スリ	イン	スベ	日
11	外国語を話したり聞いて理解するより、読んだり書いたりするほうが簡単だ。	2.7	2.6	2.5	3.3	2.5	2.7
12	外国語は聞いて理解するより話すほうが簡単だ。	2.8	2.9	3.1	3.0	3.4	3.2
13	日本語(英語)は1とても難しい言語だ、2難しい言語だ、3中程度に難しい言語だ、4やさしい言語だ、5: 大変やさしい言語だ。	3.2	2.4	3.0	2.4	2.3	3.1
14	もし、毎日1時間外国語の勉強をすると、その外国語を非常にうまく話せるようになるには、どのぐらいの期間がかかるだろうか。1:1年以内、2:1-2年、3:3-5年、4:5-10年、5:1日1時間ではできない。	3.8	2.4	2.8	3.4		3.3

10

外国語学習への自信(2)



11

外国語学習への自信(2)

- 日本語はそれほど難しくない
 - 項目13「日本語(英語)は1:とても難しい言語だ、2:難しい言語だ、3:中程度に難しい言語だ、4:やさしい言語だ、5:大変やさしい言語だ」(3.2)
- 技能別の得意・苦手意識は少ない
 - 項目11「外国語を話したり聞いて理解するより、読んだり書いたりするほうが簡単だ」(2.7)
 - 項目12「外国語は聞いて理解するより話すほうが簡単だ」(2.8)
- 日本語学習に要する期間の見積もりはやや長め
 - 項目14「もし、毎日1時間外国語の勉強をすると、その外国語を非常にうまく話せるようになるには、どのぐらいの期間がかかるだろうか。1:1年以内、2:1-2年、3:3-5年、4:5-10年、5:1日1時間ではできない。」(3.8)

12

外国語学習への自信(2) (日本との比較)

- 外国語学習に要する期間の見積もり
- (自信の度合いに比べて) M:長め⇔J:短め
 - 項目6「もし、毎日1時間外国語の勉強をすると、その外国語を非常にうまく話せるようになるには、どのぐらいの期間がかかるだろうか。1:1年以内、2:1-2年、3:3-5年、4:5-10年、5:1日1時間ではできない。」M:3.8⇔J:3.3
- 技能別の得意・苦手意識
- M:特にない⇔J:読み書きよりスピーキングに苦手意識
 - 項目3「外国語は聞いて理解するより話すほうが簡単だ」M:2.8⇔J:3.2

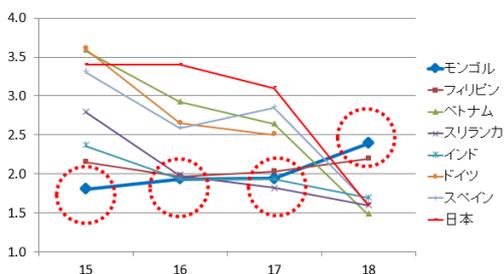
13

外国語学習とは翻訳だ

No	質問項目	平均値(1強く賛成⇔5強く反対)							
		モン	フィ	ベト	スリ	インド	イス	ベ	日
15	外国語学習で一番重要なのは、自分の母語からの翻訳のしかたを学習することだ。	1.8	2.2	3.6	2.8	2.4	3.6	3.3	3.4
16	外国語学習で一番重要なのは、文法の学習だ。	1.9	2.0	2.9	2.0	1.9	2.7	2.6	3.4
17	外国語学習で一番重要なのは、語彙の学習だ。	1.9	2.0	2.6	1.8	1.9	2.5	2.9	3.1
18	外国語はその言語が話されている国で学習するのが一番いい。	2.4	2.2	1.5	1.6	1.7		1.6	1.6

14

外国語学習とは翻訳だ



15

外国語学習とは翻訳だ

- 外国語学習は翻訳のしかたを学ぶこと
 - 項目15「外国語学習で一番重要なのは、自分の母語からの翻訳のしかたを学習することだ」(1.8)
 - 項目16「外国語学習で一番重要なのは、文法の学習だ」(1.9)
 - 項目17「外国語学習で一番重要なのは、語彙の学習だ」(1.9)
 - 項目18「外国語はその言語が話されている国で学習するのが一番いい」(2.4)

16

外国語学習とは翻訳だ (日本との比較)

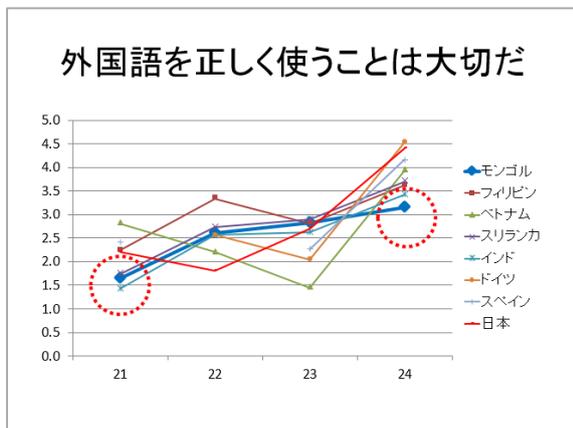
- 外国語学習の本質のとらえ方が逆
- M: 翻訳・形式を重視⇔J: No(コミュニケーション重視?)
 - 項目15「外国語学習で一番重要なのは、自分の母語からの翻訳のしかたを学習することだ」 M: 1.8⇔J: 3.4
 - 項目16「外国語学習で一番重要なのは、文法の学習だ」 M: 1.9⇔J: 3.4
 - 項目17「外国語学習で一番重要なのは、語彙の学習だ」 M: 1.9⇔J: 3.1
 - 項目18「外国語はその言語が話されている国で学習するのが一番いい」 M: 2.4⇔J: 1.6

17

外国語を正しく使うことは大切だ

		平均値(1強<賛成⇔ 5強<反対)							
No	質問項目	モン	フィ	ベト	スリ	インド	イス	スベ	日
21	外国語をよい発音で話すことは大切である。	1.7	2.2	2.8	1.7	1.4		2.4	2.2
22	外国語学習でわからない言葉があった場合、その意味を推測するのはかまわない。	2.6	3.3	2.2	2.7	2.6	2.6		1.8
23	初級の段階で間違いを訂正されなければ、あとで直すのは難しくなる。	2.8	2.8	1.5	2.9	2.6	2.0	2.3	2.7
24	正しく言えるようになるまでは日本語[外国語]で何か言うべきではない。	3.2	3.6	3.9	3.7	3.4	4.5	4.2	4.4

18



19

外国語を正しく使うことは大切だ

- 発音の正確さを重視
 - 項目21「外国語をよい発音で話すことは大切である」(1.7)
- 正確さを重視する意見に賛成する人がやや多い
 - 項目24「正しく言えるようになるまでは日本語[外国語]で何か言うべきではない」(3.2)

※ただし、項目23「初級の段階で間違いを訂正されなければ、あとで直すのは難しくなる」(2.8)は他国より賛成度が低い。

20

外国語を正しく使うことは大切だ (日本との比較)

- 正確さ志向
- M: 高い⇔J: 低い
 - 項目22「外国語学習でわからない言葉があった場合、その意味を推測するのはかまわない」 M: 2.6⇔J: 1.8
 - 項目24「正しく言えるようになるまでは日本語[外国語]で何か言うべきではない」 M: 3.2⇔J: 4.4

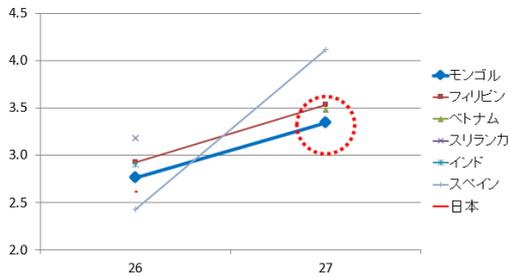
21

学習者同士で練習することへの抵抗

		(1強<賛成⇔ 5強<反対)							
No	質問項目	モン	フィ	ベト	スリ	インド	イス	スベ	日
26	他の人と日本語[英語]で話すとき、気おくれがする。	2.8	2.9		3.2	2.9	2.4	2.6	
27	クラスメート同士で日本語を話しても、学習の役に立たない。	3.3	3.5	3.5			4.1		

22

学習者同士で練習することへの抵抗



23

学習者同士で練習することへの抵抗

- クラスメイトと練習することは役に立つかわからないし、モンゴル人同士で日本人と話すのは、気おくれしいとは言えない。

24

教師の役割と自立意識 **自律**

No	質問項目	平均値 (1強く賛成 ⇄ 5強く反対)			
		モン	フィ	ベト	スベ
28	はっきりとした目的があれば日本語の上達が早くなる。	2.3		2.0	1.7
29	外国語の授業とは、教師から語や表現、文法についての説明をしてもらう場だ。	2.4			
30	自分がどの程度学習できたかを自分でチェックする方法がある。	2.4		2.8	
31	学習者の評価は教師からされるべきだ。	2.8	2.2		1.9
32	私は、日本人以外の先生より、日本人の先生から日本語を学びたい。	2.8	2.5		
33	私は外国語をどう学習すればいいかよく知っている。	2.9		3.1	

25

教師の役割と自立意識

回答分布(%)

No	質問項目	1	2	3	4	5
28	はっきりとした目的があれば日本語の上達が早くなる。	16.9	43.5	26.6	7.2	2.9
29	外国語の授業とは、教師から語や表現、文法についての説明をもらう場だ。	24.6	34.3	22.2	11.6	5.3
30	自分がどの程度学習できたかを自分でチェックする方法がある。	17.4	36.2	37.7	4.3	2.9
31	学習者の評価は教師からされるべきだ。	13.5	25.6	31.9	17.9	8.7
32	私は、日本人以外の先生より、日本人の先生から日本語を学びたい。	15.9	24.2	27.1	23.7	7.7
33	私は外国語をどう学習すればいいかよく知っている。	5.8	24.2	49.8	12.1	6.3

26

教師の役割と自立意識

- 目的と上達の速さの関係に対する意識
 - 項目28「はっきりとした目的があれば日本語の上達が早くなる」
- 教師主導、講義形式の授業を支持
 - 項目29「外国語の授業とは、教師から語や表現、文法についての説明をもらう場だ」
 - 項目32「私は、日本人以外の先生より、日本人の先生から日本語を学びたい」
- 自律学習についてはあいまいな意識
 - 項目30「自分がどの程度学習できたかを自分でチェックする方法がある」
 - 項目31「学習者の評価は教師からされるべきだ」
 - 項目33「私は外国語をどう学習すればいいかよく知っている」

27

日本センターでの授業の課題

モンゴル人学習者の ピリーフから見た傾向・意識	JF講座の理念と授業の進め方
<ul style="list-style-type: none"> • 自律学習の必要性に対する認識はあいまい • 教師主導の講義形式への慣れ • 外国語学習とは文法訳読法で行うものだという意識(正確さ志向) • 文字学習への積極性 	<ul style="list-style-type: none"> • 自律学習の推進 • 課題達成能力と異文化理解能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> - 学習者の 能動的な 取り組み・気づきを通じた学習 - インプット→アウトプット - 文字学習は重視しない

1.柔軟に対応 2.ピリーフ変容

28

追加:2つのポイント

- 教室そのものが社会であること
 - 社会とはどこか別のところにあるものではない。
 - 教室自体が課題達成の場である。
- 能動的(Active)と自律学習の連動
- →「孤(孤独、孤立)」ではなく、「己(自己)」
- →一方向ではなく、多方向(学習者、教師、クラス外)

29

脱・一方的授業への工夫

1. 学習者・教師が孤立しない学習環境を作る
2. 教室活動に「課題感」と「娯楽性」「実用性」を加える
3. 学習者が調べて発表・実践する機会を持つ
4. 教師が適切な指示・フィードバックを与える
5. 副教材を作成、配布する(文法解説書、宿題、小テスト、かな/漢字練習帳)

30

学習者・教師が孤立しない環境

- 机をグループ形式・コの字型で配置する。
- Facebook(edmodo)を利用する。
- クラス全体で動くアクティビティを取り入れる。
- 学習者は毎回の授業でその日の学習に関するメモを書く(「振り返りシート」)。それを回収し、教師もコメントを書く。
- 振り返りシートなどから出てきた学習者の質問、要望にできるだけ早く応じる。
- 週1回、クラス担当教師は会議を行う。

31

「課題感」と「娯楽性」「実用性」のある 教室活動

- 記入用紙などに書きこむ作業を取り入れ、課題感を出す。
- 活動のテーマを選択できるようにする。
- クラスアクティビティに演じる要素を取り入れる。
- クラスアクティビティにゲーム性を取り入れる
- 日本での生活に役立つ情報を、参加することを通して得られるようなクラスアクティビティを行う。

32

学習者が調べ、発表する機会

- 教科書にある日本の社会文化について調べ、クラスで発表する。
- 自分の「日本文化体験」について、クラスメートと話し合う。

33

教師の適切な指示・反応

- 学習者主体で取り組む作業のときは、かならずポイントを具体的に伝える。
- 結果ではなく過程を重視する。
- 答えをすぐに教えてしまわない。

34

追加:具体例:「発見しましょう」



35

課題

- (青木 2005)
- 「学習者が自分で自分の学習の理由あるいは目的と内容、方法に関して選択を行い、その選択に基づいた計画を実行し、結果を評価すること」
- →学習者が教師やその他の支援を受けながら、自分で学習を振り返り、分析し、評価し、計画を立てて実行していけるようになるために、教師は何ができるか。

36

参考文献(各国のビリーフ調査)

- 阿部新(2009)「スペイン・マドリードの大学における日本語学習者の言語学習ビリーフ」『名古屋外国語大学外国語学部紀要』第37号、25-62
- 稲葉みどり(2014)「外国語学習のビリーフの考察—愛知教育大学の1年生の場合—」『愛知教育大学教育創造開発機構紀要』第4号、149-156
- 片桐準二(2005)「フィリピンにおける日本語学習者の言語学習Beliefs—フィリピン大学日本語受講生調査から—」『国際交流基金日本語教育紀要』第1号、85-101
- 高井隆介(2015)「ドイツにおける大学生の日本語学習ビリーフ—BALLIによる定量的調査の結果より—」『*Japanisch Als Fremdsprache*』134-156
- 松本彩(2010)「インドの大学で学ぶ日本語学習者の特徴—ジャワハルラル・ネルー大学における言語使用状況調査と言語学習ビリーフ調査をもとに—」『言語教育は言葉と文化を結ぶ』(セミナー発表資料)
- 横山直子(2010)「ベトナム人日本語学習者の日本語学習ビリーフ—ベトナム・ハノイ国家大学外国語大学の場合—」
<http://www.data.ulis.vnu.edu.vn/jspui/handle/123456789/1336>
- 和田衣世(2007)「スリランカの大学生の言語学習ビリーフから日本語教育の改善を考える」『国際交流基金日本語教育紀要』第3号、13-28

37

参考文献

- 青木直子(2005)「自律学習」日本語教育学会編『新版日本語教育事典』大修館書店、773-775
- Horwitz, Elaine K. (1987) Surveying Student Beliefs About Language Learning. In Wenden Anita and Rubin J. eds., *Learner Strategies in Language Learning*. London: Prentice-Hall. 119-129

38